



2025年8月14日

各位

会社名 株式会社マーケットエンタープライズ
代表者名 代表取締役社長 小林 泰士
(コード：3135、東証プライム)
問合せ先 常務取締役 今村 健一
(TEL. 03-5159-4060)

通期業績予想と実績との差異および法人税等調整額の計上についてのお知らせ

2025年5月14日に公表いたしました2025年6月期(2024年7月1日~2025年6月30日)通期業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025年6月期通期業績予想と実績との差異(2024年7月1日~2025年6月30日)

(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	23,000	700	700	360	67円31銭
今回実績値(B)	24,771	625	684	484	90円75銭
増減額(B-A)	1,771	△74	△15	124	—
増減率(%)	7.7	△10.6	△2.2	34.6	—
(ご参考)前期実績 (2024年6月期)	19,008	298	40	△476	△89円35銭

2. 差異および法人税等調整額の計上

〔売上高〕

当期における売上高は、ネット型リユース事業が順調に伸長する一方で、モバイル通信事業が大きく収入をけん引し、前回(2025年5月14日)発表予想を1,771百万円上回る24,771百万円で着地しました。

〔営業利益〕

営業利益につきましては、前回発表予想を74百万円下回る625百万円で着地しました。これは主に、各種生産性向上策の進捗により販管費率が31.9%(前期比：3.0ポイントの改善)と大きく改善したものの、ネット型リユース事業において比較的利益率の低い高額商材の取扱量が増えたことや相対的に粗利率の低いモバイル通信事業の収入が連結売上高に占める割合が増えたことにより粗利率が低下したこと、および成長分野と位置付けていたマシナリー(中古農機具)分野が海上輸送の混乱等を理由に伸び悩んだことによるものであります。

〔経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益〕

経常利益につきましては、営業外収益としてデリバティブ解約益143百万円を計上したことなどから、前回発表予想とほぼ同じ684百万円で着地しました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、最終利益の黒字基調への転換に伴い繰延税金資産を計上したことにより法人税等調整額を△144百万円計上したことなどから、前回発表予想を124百万円上回る484百万円で着地しました。

なお、上記決算概況の詳細につきましては本日公表の「2025年6月期 決算説明資料」をご参照ください。

以上